

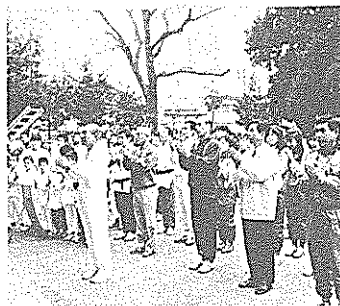
二百人余りが

元気に走り初め

南国市体育始め



市長を先頭に走り初め



日吉神社で健康を祈願

恒例の南国市体育始めが一月四日、二百人余りが参加して行われました。

参加者は午前九時半に市役所玄関前に集合。まず浜田一雄市体育協会長が「今年は辰年、舞い上がるような気持ちで勉強に仕事に励んでください」とあいさつ。小笠原市長の祝辞の後準備体操をして出発しました。

日吉神社で健康を祈願し、後免町商店街を走り抜けて電車通りを再び市役所へと、市長を先頭に元気に走り初めをしました。

防火の決意 新たに 中央公園で出初め式

小笠原市長らが各分団の人員、服装を点検した



新春恒例の消防出初め式が一月六日、市立中央公園(王冠市会場)で規律正しく整然と行われました。

午後二時、日吉各分団で防火、防災活動に取り組んでいる十二の消防分団、市消防署員ら約三百三十人が制服に身を固め勢ぞろい。

まず、浜田駿消防団長が「健康に留意して有事の際には消防精神を十分に発揮してください」とあいさつ。小笠原市長が「年々、りっぱな消防団に成長している。皆さんには大きな責任があり、また期待もされている。これからも尽力を願いたい」と述べました。

続いて小笠原市長らが整列した各分団ごとに人員、服装などを点検。その後、大湊分団久枝班による模範操法が披露され、各団員も真剣に見守りながら防火への気持ちを新たにしていました。

南国市消防団長に

浜田駿氏が就任

南国市消防団長として昭和五十八年九月から四年間、消防業務に尽力された斎藤正展氏が勇退され、新たに浜田駿氏(前選)が南国市消防団長に就任しました。

力強く “書き初め” 小学生ら100人が参加

新年の新たな気持ちを込めて一月四日、大嶽小学校体育館で「書き初め大会」が開かれました。

これは南国ライオンズクラブ(猪野吉保会長)が主催しているもので、今年で四回目。

対象者は幼児から高校生までで、当日は市内外の小学生を中心に百人が参加。同伴の父兄も訪れ、会場はいっぱいになりました。



新たな気持ちで書き初めをする子供たち

子供たちは、画仙紙に大きな筆で力強く、思い思いの字を書き、お母さんたちは子供の奮闘を見守っていました。

出来上がった作品は、どれも力作ぞろい。審査の結果、最高賞に十人、特選に四十六人、優秀に四十四人が選ばれ、それぞれに表彰状や盾、メダル、キーホルダーが贈られました。

